

令和2年（2020年）10月28日

各指定地方公共機関の長 様

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部長

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県リスクレベルについて

このことについて、10月24日に基準を見直し、今回から新たな基準により判定を行うこととしていますが、県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、10月28日からのリスクレベルは「レベル2警戒」としますので、お知らせします。

熊本市中心部のクラスターに端を発する感染の流行については、引き続きハイリスクと考えられる施設から検査勧奨及び啓発の強化を行うとともに、阿蘇市における医療機関のクラスターについても、保健所にクラスター対策チームCMATを派遣し、封じ込め対策及び施設の機能維持について、万全の体制で対応を行います。

引き続き、感染防止対策を徹底している店を選んで使用し、熊本市内中心部の歓楽街において夜遅い時間までの飲酒や会合など感染拡大につながる行動を控えていただくようお願いします。

また、ハロウィンイベントについては、熊本市中心部に限らず、夜遅くまでの飲酒等を避け、マスク着用等に御留意ください。

貴機関におかれましては、基本的な感染防止対策及び「新しい生活様式」の実践を徹底いただくとともに、貴機関所属の会員等へ周知いただきますようお願いいたします。

<お問合せ先>

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

（熊本県健康福祉部健康危機管理課）

浦江、小堀

直通：096-333-2478（内線 5949、5947）

















50

5,000

5,000

100

5,000

50 ( )

5,000

5,000

10,000

50%

50%

100%

1m

1,000

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

